

東日本大震災津波の被災地視察報告

～宮城県の被災状況について～

県土整備企画室

平成24年4月中旬、東日本大震災津波の被災地である宮城県の被災状況を視察しました。石巻市～南三陸町～気仙沼市を訪れましたが、今回は「石巻市中心部」「石巻市立大川小学校」「南三陸町志津川地区」の現在の状況について報告します。

1 石巻市中心部

石巻市は、東日本大震災津波による**人的被害が4,249人**（死者3,714人、行方不明者535人、平成24年4月6日時点）となっており、市町村別では最も多い被害です。

震災から約1年を経過した現在、石巻駅周辺は復興ふれあい商店街が立地するなど活気を感じましたが、日和山公園から見た石巻湾方面、旧北上川の中瀬は壊滅的な被害となっていました。特に石巻湾方面は、平地の瓦礫が撤去されてはいるものの、住宅の基礎が残り、現在も墓地の墓石が倒れたまま存置されるなど、被害の大きさを改めて感じました。

本号が発行される頃、日和山公園の桜は満開と思われます。一日も早い復興をお祈りします。



日和山公園から石巻湾方面を望む



中瀬の被害状況を視察（県土整備部長）



大川小学校の現在

2 石巻市立大川小学校

石巻市立大川小学校は、避難の途中、押し寄せた津波により児童、教員など多くの方々が亡くなりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りします（合掌）。

被災の状況については報道等で様々取り上げられておりますが、私たちが現地ですで感じたことは避難路の必要性です。**学校のすぐ近くに避難できる山（高台）がある。ただ登る道がない。**

今後の防災のまちづくりや避難計画を策定するうえでの教訓にしたいと考えています。



小学校付近の山（高台）



南三陸町防災対策庁舎の現在

3 南三陸町志津川地区

南三陸町志津川地区の中心地に防災対策庁舎が建っていました。町職員が最後まで住民の避難を呼びかけ続けた建物です。**建物前には献花台が設けられ、多くの方々が訪れていました。**

新しい土地利用計画案では、防災対策庁舎周辺を震災復興祈念公園として、住宅は高台移転を予定されているとのことです。一日も早い復興を祈念します（合掌）。

